

～ 自分とふるさとの未来をひらく～

みらい創造科



小中一貫教育の核となる「教科」を新設し、各学園の特色を生かした学びを進めます

- ・国の制度を活用して特設する飯田市独自の小中一貫教科です
- ・小学1・2年生の「生活科」と小学3年生から中学3年生までの「総合的な学習の時間」の一部をあてます

『飯田の子どもたちが、ふるさとに心根をもって、自分らしく生きていく』その土台となる資質・能力を育む「**ムトスの学び**」
 自分の良さや得意を生かして 問いや願いをもって主体的に学ぶ

学習目的	児童生徒が生きていく時代の予測	身に付けてほしい力
私の ふるさとの 未来をひらく	変化が激しく、様々な課題に直面しながら生きていく時代	様々な変化に対応でき、課題を乗り越えながら生きていける力
	多様性が尊重され、新たな生き方が可能になる時代	自ら考え判断し、他者との協働しながら提案や行動ができる力
	ふるさとの人口が減り、活力の低下が懸念される時代	ふるさとに愛着と誇りを抱き、より良くする取組に参画しようとする意欲
	地域に個性や魅力があれば、地域外からも人が移住してくる時代	ふるさとを理解し、より良くしていくための多様な発想ができる力

「みらい創造教育(飯田のキャリア教育)」の中核となる教科に位置づけます

- ◎ 人とつながる力、自分を見つめ夢や希望を描く力、課題をもって最後までやり抜く力
職業や仕事に興味関心をもつ力を育む「みらい創造教育(飯田のキャリア教育)」の中核となる教科に「みらい創造科」を位置付けて取り組みます
- ※ これまで取り組んできた「飯田のキャリア教育」を「みらい創造教育」と呼ぶこととします

学校と地域が一緒になってカリキュラムを作り、子どもたちの学びを支えます

- ◎ 学習カリキュラムを、小中学校の先生と地域の方々が、市の共通指針を参考に、各学園の特色や課題を生かしながらつくり、協働して学習を支援します

地域の資源や課題を活用し、地域の人と関わる実体験を重視した学びを行います

- ◎ 地域の資源を教材にして、多様な地域の人たちと関わり合う実体験をともなう学習を重ねることで、児童生徒は自分の生き方を考え、生きる力にしていきます

探究的な学習を発展的に繰り返し、課題に向かって解決する力を養います

- ◎ 児童生徒が課題を設定して、その解決に向けて情報を集めて整理・分析したり、周囲の人と意見交換したりしながら進めていく探究的な学習を繰り返し発展的に行うことで、課題に向かい、他者とも協働して解決していく力を養います



「飯田のキャリア教育(みらい創造教育)」と特設教科について

	国のキャリア教育指針	飯田のキャリア教育
目的	人は生涯を通じて様々な組織・集団の中で生きていく。様々な組織・集団の中で、他者との関係の中での自らの役割を見出し、その自分の役割を主体的に果たしながら、自分らしい生き方をしていける力を育む。	「飯田のキャリア教育」では、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていくための力を育み、ふるさとを心根においた未来の地域の担い手や地域を支える人（ふるさとのよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人）を育む。 [生き方を学ぶ教育]
つきたい力	○ 人間関係形成・社会形成能力 ○ 自己理解・自己管理能力 ○ 課題対応能力 ○ キャリア・プランニング能力	○ 人とつながる力（結いの力） ○ 自分を見つめ夢や希望を描く力（みつめる力） ○ 課題をとらえて解決に向けて考え行動しようとする力（むかう力） ○ 職業や仕事について興味や関心を持つ力（みとおす力）

領域

キャリア教育は全ての教育活動を通じて横断的に行う

学級活動・児童会生徒会活動・クラブ活動・学校行事・**生活科・総合的な学習の時間**・道徳・その他の教科学習等

一部を活用

特設教科

～自分とふるさとの未来をひらく～「みらい創造科」

(※ 飯田のキャリア教育を進める中核的な教科として位置付け、各学園の小中一貫カリキュラムにより生き方を学ぶ)

- 【目的】 児童生徒が、自分やふるさとの良さや可能性を認識し、自分とふるさとのみらいを、様々な課題を解決しながら、新たな価値を創造しながら切りひらいていける力を培うことを目的にします
- 【制度】 国の教育課程特例校制度の小中一貫校特例を活用して「飯田市独自の小中一貫教科」を設けます
- 【編成】 生活科(小1・2年)～総合的な学習の時間(小3～中3年)の内の一定の授業時数をあてます
カリキュラムは、学園地域の特徴を生かしながら、学校と地域が協働して編成します
- 【内容】 児童生徒が、ムトスの学びを基軸に、学園地域の資源を教材として、地域の多様な人と関わり合う
実体験をともなう主体的、協働的で、探究的な学習を行う教科とします
- 【行程】 R7年度に学校・地域が協働し学習内容を検討し、R8年度から本格的な取組を開始します